

Summer Studio 2026

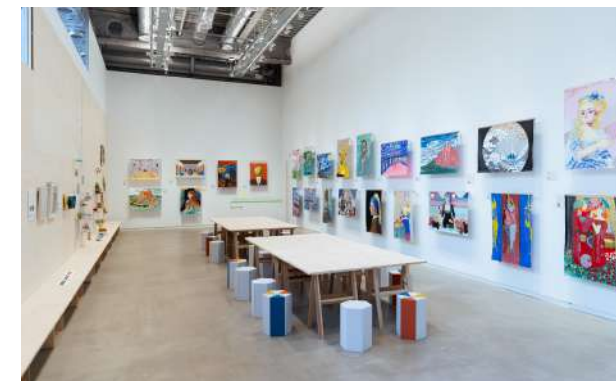
2026.7.22(Wed) — 8.30(Sun) 11:00-19:00

火曜休館・夏期休館 8.12—14 ※8.11(火・祝)は開館 入場無料

リクルートホールディングスが運営するアートセンター BUGでは、小学生から大人まで参加できるワークショッププログラム「Summer Studio 2026」を開催します。今年はアートやデザインに加え、ゲームや編集といったジャンルも加えた9組のアーティスト/クリエイターを講師に迎えます。手を動かしながら「つくる楽しさ」に触れるとともに、多様なキャリアや仕事について知ることができる、多彩なワークショップを実施します。会場では、中高生向け特別プログラムの成果作品の展示や、気軽に参加できるミニ体験コーナーもご用意しています。この夏、BUGで自分の「好き」を広げながら、つくることを思いきり楽しんでみませんか。

展示をみる

会期前の約1か月間、グラフィックデザイナー/アーティストの高田唯とともに中高生が制作に取り組みました。日常の何気ない風景を見つめ直し、「見方をずらす」「新しい視点をつくる」といった発想から、それぞれの気づきをかたちにした作品をお楽しみください。



カフェでひと息

併設のBUG Cafeではドリンクやフードメニューをお楽しみいただけます。展示をみながら、ワークショップの合間に、ゆったりとした時間をお過ごしください。会期中限定でコラボメニューも提供します。



体験する

会期中、9名の講師によるワークショップを開催します。小学生～大人までどなたでもご参加いただけます。夏休みの体験や自由研究、新しい趣味の発見にもおすすめです。



予約不要で参加できる体験コーナーも併設します。缶バッジなどのオリジナルグッズをデザインし、その場で制作してお持ち帰りいただけます。



Summer Studioの楽しみかた



火曜休館・夏期休館 8.12—14 ※8.11(火・祝)は開館 入場無料

Closed on Tuesdays and Aug 12—14

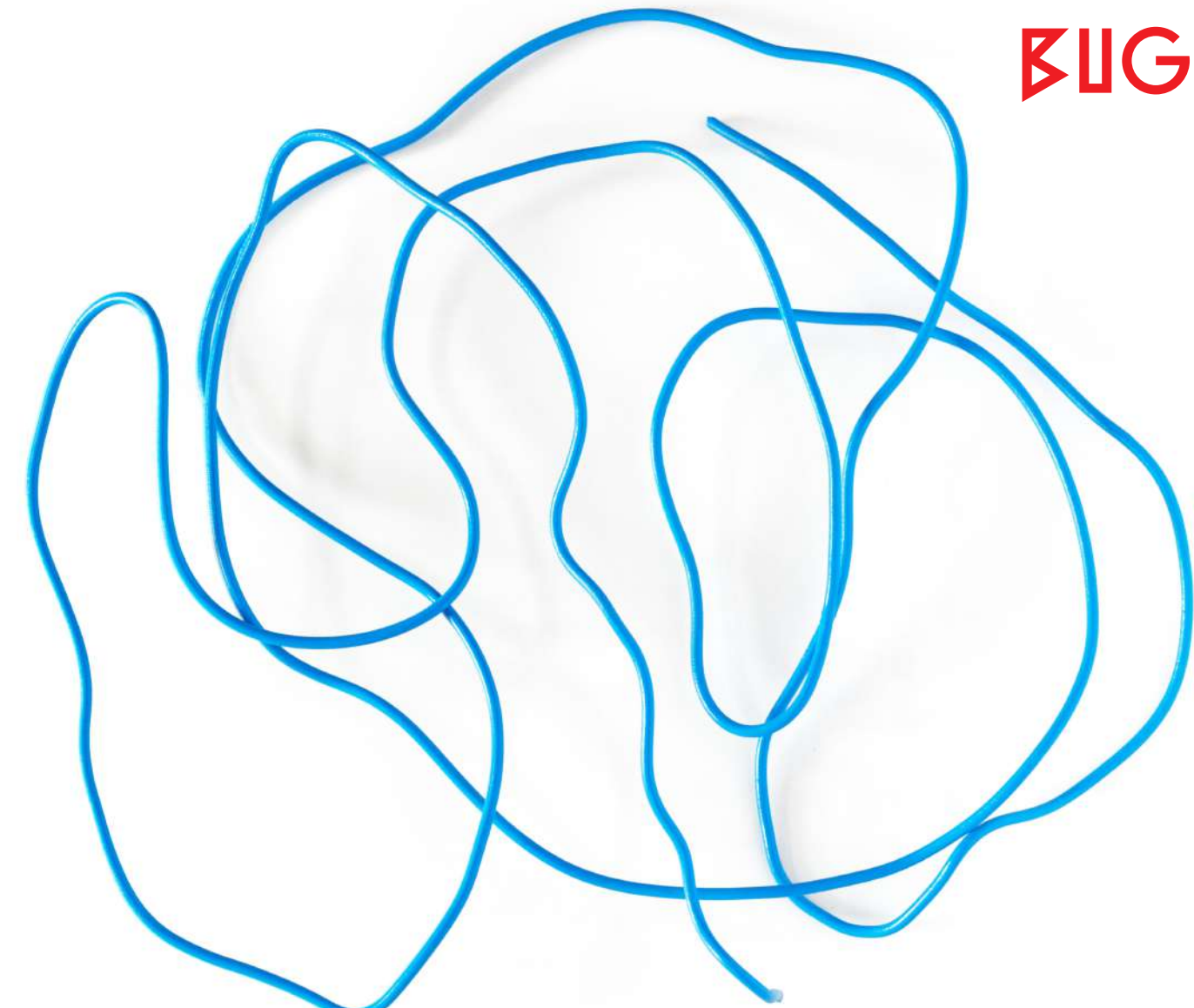
*Open on Tuesday, Aug 11 (Public Holiday) Admission Free

主催: BUG (株式会社リクルートホールディングス)

協力: 株式会社ラフ&ピースマザー (CANVAS)



2026.7.22(Wed) — 8.30(Sun) 11:00-19:00



Workshop

① 11:00-13:00

② 15:00-17:00

対象：小学生～大人

定員：各回20名程度

●参加費：1,000円または2,000円(材料費) ●要事前申し込み [6月26日(金)より申込受付開始予定]

※①②の内容は同じものです。開始時間・終了時間は若干前後する場合がございます。※詳細、参加方法はウェブサイトからご覧ください→ <https://bug.art/>

〒100-6601 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー1F Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F, 1-9-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo

JR 東京駅八重洲南口直結 ※BUGには駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

*WEB ページ QR

[X/Instagram] @bugart_tokyo

[Facebook] bugart.tokyo



「麺のお菓子で文字をつくろう」

高田唯 (グラフィックデザイナー/アーティスト)

7月24日(金)、8月30日(日)



「平成レトロなミニジオラマをつくろう!」

青山夢 (アーティスト)

8月1日(土)、8月2日(日)



「加賀友禅で彩るミニフレーム、ハンカチづくり」

友禅空間 工房久恒 (加賀友禅)

8月10日(月)、8月11日(火・祝)



「中身からはじまるデザイン ~つつみ方を考えよう~」

サリーン・チェン (グラフィックデザイナー/アートディレクター)

7月26日(日)、8月16日(日)



「自分の描いた絵でゲームをつくって遊ぼう」

たかくらかずき (アーティスト)

8月5日(水)、8月6日(木) ※2日間セット参加



「へんてこいきものをつくろう」

中村至男 (グラフィックデザイナー) +

吉田知史 (電子工作アーティスト)

7月25日(土)、8月29日(土)



「土の街の家をつくろう」

森藤文華 (2.5 architects / 建築家)

8月15日(土)、8月22日(土)



「色と形から考える、オリジナルパフェをつくろう!」

BUG Cafe (飲食運営)

8月9日(日)、8月28日(金)



「『夏』をテーマに編集して、自由に誌面をつくろう」

me and you (編集者)

8月8日(土)、8月23日(日)

高田唯 (グラフィックデザイナー/アーティスト)

1980年生まれ。桑沢デザイン研究所卒業。デザイン会社Allright取締役。グラフィックデザインを軸にしながら、近年は日本国内やアジアで個展を開催し、欧州でもグループ展に参加している。東京造形大学教授。

青山夢 (アーティスト)

1997年茨城県生まれ。2022年、東北芸術工科大学大学院 修士課程 芸術文化専攻 絵画領域修了。死生観や信仰、民間伝承を背景に、マンガやアニメなどの現代的モチーフを融合させ、時空を超えた神話的世界を描く。ウルトラ怪獣の縫い目や寺山修司作品に見られる極彩色で濃密な昭和的質感に、ポケモンやたまごっちの滑らかな平面的フォルムを重ね合わせ、異なる時代感覚を横断する独自の造形世界を構築している。

友禅空間 工房久恒 (加賀友禅)

1973年代表の久恒俊治氏が加賀友禅作家鶴見保次工房に入門し、1987年独立して「友禅空間 工房久恒」を開設。「加賀友禅をもっと身近に」という想いで、着物以外にも加賀友禅の技法を木や金箔、化繊などの異素材に染めたインテリアや内装なども手掛ける。近年では環境に配慮した草木染め加賀友禅の取り組みで三井ゴールデン匠賞を受賞。

サリーン・チェン (グラフィックデザイナー/アートディレクター)

1990年香港生まれ。香港理工大学デザイン学科卒業後、新聞社でビジュアルジャーナリストとして勤務しながら、イラストレーターとしても活動。'16年香港ヤングデザインタレント賞を受賞。'17年来日、キギと創造に所属。'25年JAGDA 新人賞を受賞。

たかくらかずき (アーティスト)

1987年生まれ。東京造形大学大学院修士課程修了。ビデオゲーム、ピクセルアート、XR、AIなどのデジタル表現を用い、キャラクターやゲームの構造を手がかりに、デジタル時代における身体性や儀式性のあり方を探求している。東洋思想の視点を参照しながら、現代美術の構造や前提を再考する作品を制作する。代表的なプロジェクトに、山梨県立美術館での個展「メカリアル」(2023)、BUGでの展覧会企画「キャラクター・マトリクス」(2024)、GINZA SIXでのインスタレーション「ハイパーマン・パン・ゴ・オー」(2025)などがある。2025年、山梨県立美術館に作品収蔵。OpenAI [sora select TOKYO] 選出作家。また、演劇カンパニー「範宙遊泳」のアートディレクターとして、映像やビジュアル・ディレクションも手がける。

中村至男 (グラフィックデザイナー)

川崎市生まれ。日本大学芸術学部卒業後、ソニー・ミュージックエンタテインメントを経て1997年独立。グラフィックデザインを中心に、広告、絵本、CI、デジタルコンテンツ、アニメーション、イラストレーション、ブックデザインなど、ジャンルを問わず活動をしている。主な仕事に、21_21 DESIGN SIGHT「単位展」、「明和電機」のグラフィックデザイン、佐藤雅彦氏とのプロジェクトとして「勝手に広告」、「PlayStation [I.Q.]」、NHK みんなのうた「テトベッテンソン」など。著書に「どっどこどうぶつえん」福音館書店、「ぶっくり ぼっこり」偕成社など。毎日デザイン賞、亀倉雄策賞、ポロニヤラガッツィ賞優秀賞など受賞。

吉田知史 (電子工作アーティスト)

手芸とハイテクを組み合わせた新しいクラフト「テクノ手芸部」のメンバー。領域を超えたものづくりを提案、ワークショップや教材開発、講演などの活動を行っています。京都精華大学非常勤講師。デジタルハリウッド大学大学院准教授。

森藤文華 (2.5 architects / 建築家)

自然や風景、場所性といったキーワードを手がかりに、リサーチ・ベースドな制作活動を分野横断的に行っている。東京湾の埋立地をテーマとした作品として、ヌトミック×2.5 architects「しらふの地先へ」(東京、2024年)、「青海三丁目 地先の肖像」(東京ビエンナーレ、2021年)、などをこれまでに発表。「地先リサーチクラブ」の活動を通じて、様々な人を巻き込みながらリサーチを継続している。

BUG Cafe (飲食運営)

株式会社HAGISOが運営する、アートセンターBUGに併設されたカフェ。コーヒーをはじめ、季節の素材を取り入れた自家製のスイーツやお食事を提供。また、年間を通してBUGの展示に合わせたコラボレーションメニューの開発も行っている。

me and you (編集者)

個人と個人の対話を出発点に、遠くの誰かにまで想像や語りを広げていくための活動を行う拠点として、2021年4月に竹中万季と野村由芽が設立。「わたし」と「あなた」という小さな主語を大切にしながら、個人的な想いや感情を尊重し、社会の構造まで考えていくメディア「me and you little magazine」を運営。ほかにも、編集視点で企業や団体とのプロジェクトの企画・制作などに取り組んでいる。